



芳滝 仁 議員  
(拓政会)

**問** 国の地方行財政の重点施策に地域の活性化と多様性ある国土づくりがあり、地域の発想と住民参加に基づく地域づくりが求められている。地域の活性化について交流人口の増加がある。

幕別町の有形無形の財産を活かした事業を考える時、来年30周年を迎えるパークゴルフを中心としたスポーツツーリズム（スポーツ観光事業）を推進し合わせて合宿誘致について町のスポーツ施設（野球場・競技場・スキー場他）の指定管理者制度の導入を基本に合宿誘致基本計画を策定し、世界的アスリートの福島さん、山本さん、高木さんの出身地という知名度を生かした事業を行うべきだ。

合宿としては空店舗等の民宿利用を商工会の協力や空店舗開店補助事業も利用して推進し、合宿等の誘致事業補助金制度を創設し、担当部署を創設して行政、民間、地域住民が協力して町の活性化を推進するスポーツツーリズム合宿

問	答
<p><b>スポーツツーリズムの推進と合宿誘致事業の構想について</b> <b>先進事例の情報収集を行い調査研究をしていきたい</b></p>	<p>誘致事業を計画的に立ち上げ、力強く推進する必要があると考えるがどうか。</p>

誘致事業を計画的に立ち上げ、力強く推進する必要があると考えるがどうか。

**町長** スポーツツーリズムの推進について、本町への集客を高めていくためには、宿泊を含めた、受け入れ施設の優位性や、利便性、経済性などの面で他地域との差別化が必要であり、現状のままではスポーツツーリズムに結びつけていくのは難しいものと考えている。今後とも、観光物産協会などとの連携を図りながら、国が実施するモニターツアーの実施結果や先進事例の情報収集を行い調査研究をしていきたい。

スポーツ合宿の誘致は、本町のスポーツ振興はもとより、知名度の向上や交流人口の拡大などといった観光振興や地域の活性化につながっていくものと認識している。合宿する側の要望にこたえ、低価格で利用できる宿泊先、選手への送迎、トレーニング環境の整備

などの費用負担のほか、町の施設が一定期間占有されることから、関係団体や利用者との調整などといった受け入れ態勢の課題があり、町としては、スポーツの振興を所管する教育委員会、広域でスポーツ合宿の誘致に向けた取り組みを進める十勝観光連盟などと連携を図り、当面は現行組織、観光担当部署において、合宿を実施している企業等の今後の動向や先進事例の受け入れ態勢、助成制度、経済的効果などの情報を収集して調査研究をしていきたい。

**教育長** 体育施設の管理や運営の一つの方法として指定管理者制度があるが、スポーツに精通した団体が指定管理を受託した場合、スポーツ教室の開催や町民ニーズにあった細かなスポーツプログラムを提供など、専門家ならではの発想で管理運営が期待できるといわれている。また、現役を引退したスポーツアスリートを施設職員と

して雇用も可能であるともいわれており、このことがスポーツの振興にも大きく寄与することが期待できることから、今後の指定管理者制度の導入に向けて、現在、町の指定管理者制度導入検討委員会において検討作業を進めている。

**再質問** パークゴルフを中心としたスポーツツーリズムの推進について、来年の30周年はいい機会だ。町としてパークゴルフ発祥30周年に当たり特別な事業を計画すべきだと考えるがどうか。

**答** 町として具体的な取組みはしていないが、日本パークゴルフ協会との連携の中でこれから進めていくことになるかと思っている。



運動公園野球場：7月28日にファイターズ戦を予定